

### 3: 急性リンパ性白血病(ALL)【小児】

#### 1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
<b>責任者</b> 加藤 元博	国立成育医療研究センター	小児がんセンター 血液腫瘍科
石田 宏之	地方独立行政法人 京都市立病院機構 京都市立病院	小児科
宇佐美 郁哉	兵庫県立尼崎総合医療センター	小児科
岡本 康裕	鹿児島大学医歯学総合研究科	小児科学分野
加藤 剛二	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
河崎 裕英	関西医科大学枚方病院	小児科
後藤 裕明	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
高橋 義行	名古屋大学大学院 医学系研究科	成長発達医学
長谷川 大一郎	兵庫県立こども病院	小児がん医療センター血液腫瘍内科
堀越 泰雄	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
森本 克	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植再生医療科
坂口 大俊	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
橋井 佳子	大阪大学大学院医学系研究科	小児科学
荒川 ゆうき	埼玉県立小児医療センター	血液・腫瘍科
石丸 紗恵	東京都立小児総合医療センター	血液・腫瘍科
加藤 啓輔	茨城県立こども病院	小児専門診療部 小児血液腫瘍科
半谷 まゆみ	東京大学医学部附属病院	無菌治療部(小児科)

#### 2. 承認研究の進捗状況(2015年1月-12月 ※JSHCT2016を含む)

3-2	「小児急性リンパ性白血病に対する骨髄破壊的移植と骨髄非破壊的移植の比較検討」 PI:加藤剛二
	学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)
3-4	「同種移植後再発小児 ALL における同種再移植後の予後に関する検討」 PI:加藤元博
	学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)
3-5	「非寛解期小児 ALL における移植成績」 PI:岡本康裕
	学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績:
3-6	「小児・思春期 ALL 第二寛解期に対するアロ造血幹細胞移植前処置の影響」 PI:石田宏之
	学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績:
3-8	「初回寛解期小児高危険群急性リンパ性白血病に対する同種造血幹細胞移植の妥当性を検証する臨床決断分析」 PI:長谷川大一郎
	学会発表: 論文業績:

3-9	「小児フィラデルフィア染色体陽性急性白血病に対する同種造血幹細胞移植の有効性の検討と最適な移植時期、前処置、移植ソースの開発」 PI: 荒川ゆうき
学会発表: 荒川ゆうき 他 第 77 回日本血液学会総会(平成 27 年 10 月 16-18 日)、石川県立音楽堂 論文業績:	
3-10	「ダウン症合併急性リンパ性白血病患者における造血細胞移植の治療成績」 PI: 後藤裕明
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)	
3-12	「小児急性白血病の移植前処置における経口ブスルファンと静注ブスルファンの比較」 PI: 加藤元博
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)	
3-13	「乳児急性リンパ性白血病に対する同種造血幹細胞移植の治療成績に関する検討」 PI: 加藤元博
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)	
3-14	「小児 ALL 第一・二寛解期に対するアロ造血幹細胞移植前処置の影響」 PI: 加藤元博
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: Kato M, Ishida H, Koh K, Inagaki J, Kato K, Goto H, Kaneko T, Cho Y, Hashii Y, Kurosawa H, Takita J, Hamamoto K, Inoue M, Sawada A, Suzuki R, Kato K. Comparison of chemotherapeutic agents as a myeloablative conditioning with TBI for pediatric ALL: a study from the pediatric ALL working group of the JSHCT. <i>Pediatr Blood Cancer</i> 2015;62(10):1844-50	
3-15	「小児白血病に対する GVHD と再発率の関係についての検討」 PI: 加藤元博
学会発表: 論文業績:	

### 3. 会議開催記録(2015 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
6 月 20 日	名古屋医療センター	承認済みの研究の進捗報告と、新規計画の提案

### 4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2015 年 12 月末時点まで)

( 433 )回

### 5. WG の今後の活動方針・抱負など

既承認研究を整理しつつ進捗させると同時に、新たな解析を提案していく。特に他の WG との共同研究なども視野に入れる。また、若手のメンバーを積極的に勧誘し、統計解析を実際に行う機会を与え、論文化作成まで WG としても支援する。